本輪西ファミリークリニック

緩和ケア外来の説明

ごあいさつ

ようこそ、本輪西ファミリークリニックへいらっしゃいました。
当院は1996年より本輪西の地で患者さん、家族、地域のみなさんの笑顔に役立つように家庭医療の実践を行っている診療所です。
なお、家庭医療診療所がどのようなところなのかは、別に発行している「本輪西ファミリークリニックのかかり方」に詳しい説明を載せておりますので、ぜひご覧ください。

さて本日、「緩和ケア外来」に、みなさんはどのような気持ちでいらしたのでしょうか？がんになると、一般的に以下のような事が起きると言われています。

痛み、倦怠感などのさまざまな症状
落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛
「喪失」や「死」への恐怖
なぜ、どうすれば、という自分の「人生」に対する問い

緩和ケアを含めた、家庭医療が扱うのはそのような、個別性のある一人の人間の苦しみや悩みです。そして、そのケアをどうしていくかは当然、お一人お一人で違います。つまり、緩和ケアとは、患者さんの苦痛を取りのぞき、患者さんとご家族にとって、「どこで、だれと、どのように過ごしたい」という自分らしい生活を送るためのケアなのです。
そしてそれを一緒に実現していくためには、みなさんの思いを言葉で私たちに伝えていただくことから始まります。私たちも誠意を持って聞かせていただきたいと思います。
まずは、どうぞお気軽になんでもお話いただければ幸いです。

院長　佐藤 弘太郎

目次

ごあいさつ ----------01

目次 ----------02

緩和ケア外来でできること ----------04

緩和ケア外来の受診の流れ ----------05

医療チームの体制 ----------06

積極的な治療をしない＝「何もしない」ではありません。
ここからは私たちの出番です。

「もうできる治療がない」
「これからは積極的な治療をしない」

と決まったとき、医療が終わるわけではありません。

これからは、病気を治すための治療から、

「あなたを苦しめる症状を和らげ、
**　生活の質を保つためのケア（緩和ケア）」**
へと、大切なバトンタッチが行われるタイミングです。
当院は、地域に根ざした診療所として、あなたが最期まで
あなたらしく、笑顔の時間を少しでも長く過ごせる場を
一緒に作り上げていきます。

まず、私たちにご相談下さい。

当院の緩和ケア外来でできること

さまざまな「苦痛」をしっかり和らげます

1

からだの辛さを和らげる

痛み、息苦しさ、体のだるさ、吐き気、食欲低下など、日常生活の妨げになる症状をお薬などで速やかにコントロールします。

2

こころの苦しさに寄り添う

「これからどうなるのだろう」という不安や孤独感、やり切れない思いをしっかりとお聞きし、心が少しでも軽くなるようお手伝いします。

3

これからの過ごし方を一緒に考える

最期まで住み慣れた我が家で過ごしたい、専門の病棟（ホスピス）へ入院したいなど、ご希望に合わせた療養環境の調整を行います。
訪問看護師やケアマネジャー等とも連携し、ご自宅での生活もバックアップします。自宅で最期を迎えたい方は、訪問診療も可能です。

4

ご家族のケア

大切なご家族を支えるあなたも、私たちのケアの大切な対象です。看病の疲れや不安を一人で抱え込まず、いつでも弱音や本音をお聞かせください。

緩和ケア外来の受診の流れ

1 受付

受付で保険証、診察カードの確認をします。
初回の方は、緩和ケア外来の受診希望の旨をお伝えいただき「情報診療提供書」をお渡し下さい。問診票がある方はお渡し下さい。

2 問診

初回の方は、問診票の記載をお願いしております。
看護師がお話を聞かせて頂きます。

3 診察

診察室で医師が診察します。
前ページにあった、あらゆる苦痛に対応できるよう患者さん、ご家族の方とお話させて頂きます。

4 処置

採血、注射などの処置がある方は処置室で処置を行います。

5 会計

自動会計機でお会計を行います。キャッシュレス決済にも一部対応しております。

医療チームの体制

医師だけでなく、様々な専門スタッフがワンチームとなってあなたの日々を多角的にサポートします。

私たちは、院内のスタッフだけでなく、地域の医療・介護の専門家（他事業所）とも連携しています。あなたがこれからの時間を一番あなたらしく、安心して過ごせる療養環境を整えます。

医師

家庭医療・総合診療を専門にして、痛みのコントロール（医療用麻薬の適切な使用など）や症状緩和の治療を行います。

看護師

日常生活のケアや不安への寄り添い、ご家族の介護へのアドバイスを行います。訪問看護を導入されている方は、当院看護師と訪問看護師とも連携し、サポートします。

医療ソーシャルワーカー

経済的な不安（医療費の制度）や、福祉サービス（介護保険・訪問看護など）の手続きをケアマネジャーと連携しお手伝いします。他医療機関や施設との連携も行います。

管理栄養士

食べることは生きること、と考えておられる方も多いのではないでしょうか。栄養面はもちろんのこと、調理法や食べ方の工夫など、食事に関するあらゆる相談をすることが可能です。

人生　良いとき ばかりではない
それぞれの人にさまざまな出来事は訪れる
でも空は、自分が上を向くだけで いつもそこにあった

私たちのクリニックも

苦しい時や悲しい時に 空を見上げると元気をもらえるような

そんな「空色」のような存在でありたい

なにか特別な場所ではなくて、日常の景色の1つのような
馴染みの場所として

安心して地域で暮らしていくことに 役立っていきたい

Hokkaido Centre For Family Medicine

2026年8月制作　第1版